

おはようございます。

本日は年度初めの大変お忙しい所、秋田県教育委員会教育長 安田浩幸様をはじめ、日頃お世話になっております報道機関の皆様、そして県教育庁保健体育課の皆様にも御出席をいただき、令和5年度第1回評議員・理事会を開催できますことはこの上ない喜びであり、県高野連を代表しまして、心より厚く御礼を申し上げます。

また、加盟校各校の評議員、並びに、理事、監督、コーチ、等の指導者の皆様には、秋田県の高校野球の発展、並びに高校球児の健全育成に、日々、御尽力いただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、先月に行われました第95回記念選抜高校野球大会では、本県代表の能代松陽高校が素晴らしい活躍を見せてくれました。初戦で栃木県代表の石橋高校を破って、初めて同校の校歌が甲子園に流れました。感動的でした。続く3回戦では、春連覇のかかった優勝候補の大阪桐蔭高校と対戦しましたが、がっぷり四つの横綱相撲とも言えるべき大接戦を演じてくれました。結果は残念ながら0対1で敗れてしまいましたが、最後までどちらが勝つか分からず、全国の高校野球ファンも手に汗を握ったのでは無いでしょうか。閉会式で日本高野連の寶馨会長が、大会を終えての講評を述べられた時、この試合について語り、能代松陽の森岡投手を中心とした堅い守りでの善戦ぶりを高く評価してくれました。3回戦レベルでの1試合を取り上げ、このような紹介をしていただいたことは誠にありがたく、大きな励みとなりました。全県各校が、これから能代松陽高校を目標にしのぎを削ってくれることを期待します。

県高野連では、昨年度からこれまでの制度を大きく改革して参りました。今年度も引き続き、見直しを図って参ります。皆さんの御意見、御支援を賜りながら邁進して参りたいと思っておりますのでどうかよろしくお願い致します。

また、新型コロナウイルス感染症対策も引き続き万全を期して大会運営をして参りますので、御理解と御協力をお願いします。

結びに、御出席いただきました皆様のますますのご健勝と、加盟校各校の野球部員が、教育の一環である高校野球を通じて、社会に貢献できる立派な人材に育ってくれることを祈念して、開会の挨拶と致します。本日はどうかよろしくお願い致します。